

屋内遊具 園児大喜び

クロスランドおやべ「ふれあいハウス」

小矢部市教委がリノベーション（大規模改修）計画を進めていたクロスランドおやべ内の「ふれあいハウス」のうち、屋内遊具を備えた有料の遊戯スペースが7日から供用開始される。休憩スペースの内装も一新し、オープンデッキも設けた。6日は地元の松沢保育所年長児20人が訪れ、新しい遊具を体験した。

ボルダリング体験 きょう供用開始

施設改修工事は昨年11月から始まり、国の地方創生拠点整備交付金を活用し

た。既存の休憩スペースを区切り、3歳から小学生までを対象とした「げんきっ

こひろば」を整備。幼児と児童向けにボルダリングを体験できる遊具計2基と網状のアスレチック遊具を設け、天候に関係なく子どもが遊べるようにした。

クロスランドおやべの砂川靖春館長があいさつした後、年長児は早速、遊具によじ登り、汗をかきながら歓声を上げた。市のマスコットキャラクター、メルグユークんとメルモちゃんも訪れた。

ふれあいハウスの目の前には「恋人の聖地」に認定されている「ハートアイランド」やミニ鉄道の駅舎が広がる。立地条件を生かすため、正面の階段部分を改

修してオープンデッキを設置。休憩スペースのテーブルや椅子の更新、トイレの洋式化なども行い、利便性を向上させた。総事業費は約4320万円。

屋内遊具の利用時間は毎週土日曜の午前10時～午後3時まで（11月第2土曜～3月末まで休業）で、料金は6分210円。休憩スペースは午前10時～午後9時までで、毎週水曜は休み。



真新しい遊具に歓声を上げる園児。小矢部市のクロスランドおやべ内の「ふれあいハウス」